



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 アプライド株式会社

上場取引所 東

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,783	△1.8	475	△3.5	470	△4.4	290	△12.0
29年3月期第2四半期	15,051	15.0	492	42.6	492	△2.6	329	5.3

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 289百万円 (△12.5%) 29年3月期第2四半期 330百万円 (5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	114.33	—
29年3月期第2四半期	129.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,757	4,484	32.0
29年3月期	13,090	4,271	32.0

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 4,405百万円 29年3月期 4,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	30.00	45.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	2.5	1,280	1.5	1,280	1.6	680	1.8	267.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	2,703,200 株	29年3月期	2,703,200 株
30年3月期2Q	165,452 株	29年3月期	165,394 株
30年3月期2Q	2,537,758 株	29年3月期2Q	2,537,911 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、国内景気は緩やかな回復基調が持続しております。一方、新興国経済の景気減退や米国政権の政策運営懸念等による海外経済の不安定感があり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループは、ハードとサービスを融合した仕組みの販売を中心に据え、顧客の増大と利益の創出を図り、専門店としての強みを活かした体制を構築いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」25店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」の単独店舗4店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を運営し、品揃え、サービスに専門性を追求し、差別化を推進いたしました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、22拠点体制で、高付加価値商品の販売及びサービスの充実を図り、ソリューション営業を推進いたしました。

B to B販売を中心とした特機営業では、大都市圏への人員増強を行い、システムによる顧客の囲い込みを推進し、売上の増大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は147億83百万円（前年同期比1.8%減）、利益面におきましては、営業利益は4億75百万円（前年同期比3.5%減）、経常利益は4億70百万円（前年同期比4.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億90百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、専門店としての商品及びシステム・サービスの提供に取り組み、他社との差別化を推進し、売上高は130億71百万円（前年同期比0.8%減）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、大型店舗による店舗販売の強化を行い、オリジナル商品の投入やイベント開催による顧客の増大に取組み、売上高は15億40百万円（前年同期比9.5%減）となりました。
- ③出版・広告事業は、誌面に加え、デジタルを利用した送客システムやイベントの開催などを通じて、顧客の増大を図り、売上高は1億70百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億66百万円増加し、137億57百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加5億51百万円、有形固定資産の増加88百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億53百万円増加し、92億72百万円となりました。これは主に、短期借入金金の増加4億65百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億13百万円増加し、44億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加2億14百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、32.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では、平成29年5月12日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	812	866
受取手形及び売掛金	5,252	5,804
商品及び製品	1,562	1,553
仕掛品	1	4
原材料及び貯蔵品	16	10
その他	296	295
貸倒引当金	△99	△143
流動資産合計	7,842	8,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,733	1,773
土地	2,563	2,563
その他(純額)	87	134
有形固定資産合計	4,384	4,472
無形固定資産	17	82
投資その他の資産		
敷金及び保証金	737	703
その他	109	107
投資その他の資産合計	846	810
固定資産合計	5,248	5,366
資産合計	13,090	13,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,993	2,019
短期借入金	1,001	1,467
1年内返済予定の長期借入金	915	886
未払法人税等	264	199
賞与引当金	176	159
ポイント引当金	54	60
その他	1,330	1,291
流動負債合計	5,736	6,084
固定負債		
長期借入金	2,536	2,650
長期未払金	402	402
退職給付に係る負債	143	131
その他	0	4
固定負債合計	3,082	3,188
負債合計	8,818	9,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	406	406
利益剰余金	3,495	3,709
自己株式	△92	△92
株主資本合計	4,191	4,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	△0	△0
非支配株主持分	80	79
純資産合計	4,271	4,484
負債純資産合計	13,090	13,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	15,051	14,783
売上原価	11,614	11,261
売上総利益	3,437	3,521
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	332	308
販売促進費	83	134
ポイント引当金繰入額	49	47
給料及び手当	893	915
賞与引当金繰入額	88	136
賃借料	366	360
その他	1,130	1,143
販売費及び一般管理費合計	2,945	3,046
営業利益	492	475
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	8	5
協賛金収入	4	4
その他	6	4
営業外収益合計	21	16
営業外費用		
支払利息	19	17
その他	1	3
営業外費用合計	21	20
経常利益	492	470
税金等調整前四半期純利益	492	470
法人税、住民税及び事業税	131	173
法人税等調整額	29	7
法人税等合計	161	181
四半期純利益	330	289
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	290

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	330	289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	330	289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329	290
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

たな卸資産のうち、商品、製品及び原材料の評価方法は、従来、主として先入先出法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から主として移動平均法に変更しております。

この評価方法の変更は、当連結会計年度における在庫管理システム更新を契機に、期間損益計算をより適正にするために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及修正は行わず、前連結会計年度末の商品、製品及び原材料の帳簿価額を第1四半期連結会計期間の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。